

あそびがいっぱい

あそびの森



事前WS「ハレノワの森の飾りをつくろう」

日時：6月1日(土)14:00～16:00、6月2日(日)10:00～12:00
講師：持田晃子、片谷茜(NPO法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩あそぶあーと)
会場：岡山県生涯学習センター美術工芸室、書道教室

自分の思う「おかやま」をアートで表現しました。素材は、新聞紙や米袋などの紙、絵具など。形を作って、色を付ける。刷毛や筆は日常ではあまり使わないので子どもたちは興味深々。「やってみよう！」を形にして大満足でした。



岡山にちなんだ「もも」「ぶどう」「桃太郎」をモチーフに会場を飾りました。ハレノワの大きなガラス面は、カモイ加工紙株式会社から提供を受けたマスキングテープで飾りました。来場者が思い思いに作るマスキングテープの絵には、自分の姿、日常の様子、好きな動植物などストーリーのあるものもありました。ハレノワの外側から見た人から、「外から見るとダイナミックで一層素敵よ!」と感動の声もありました。

ワークショップ

「出会い+ふれあい+工夫+感じる+認める+表現する」がいっぱい詰まったワークショップ。

WS① リズムと言葉で遊んで演じて!

日時：8月1日(木)13:00～14:30
講師：角ひろみ(劇作家・演出家・俳優)、秀-hide-(ドラマー)
講師のフラットなおしゃべりで全体が和んだ場になりました。子どもたちはセリフを自分たちで考え、楽器を使って出す音・リズムが一つになって、作品ができあがりしました。他者と共感し、自らを表現する力が発揮され、のびのびと楽しい時間でした。



WS② ならす・つくる・おどる～やってみよう! ガムラン楽器と仮面～

日時：8月2日(金)11:00～12:30
講師：櫻田素子(香味野菜/ガムラン、仮面作り)大野里美(おどり)
楽器に触れ、音を出してみる。その後、奏者の進行で合奏しました。初めて出会った人たちは思えないほど息のあった合奏となりました。合奏の後、ガムラン楽器の音からイメージを膨らませ、一人ひとりが仮面を作り、多様な素材で飾りました。2つのグループに分かれ、交互に「合奏」と「踊る」を体験しガムランの世界を楽しみました。個性が輝く時間でした。

WS③ つくってあそぼ!人形づくり

日時：8月3日(土)13:00～14:30
講師：荒木千尋(人形劇団クラルテ)
「動物」をテーマに紙コップで人形を作りました。どんな動物にするかを一人ひとりが考え、工夫し丁寧に作りました。ネコ、ウザキなど色々な紙コップ人形が完成。2つのグループに分かれてストーリーを作り、披露しました。どちらのストーリーも楽しくて和気あいあいとした空気にも包まれました。



WS④ ミュージカル基礎講座～遊びから作り上げるミュージカル

日時：8月3日(土)18:00～19:30
講師：鈴木彩子、東城由衣、吉田美緒(イツフォーリーズ)
「初めて出会った人たちが即興で創作する」というミュージカルづくり。最初は、ややこちなさを感じる空間でしたが、体を動かし、コミュニケーションを取り始めると、いつの間にかチームになり、オリジナルのストーリーを作っていました。考えを伝えながら他者を受け入れ、協力してまとめていく力に若者のエネルギーが感じられました。



あそびのひろば

① レトロあそび復活大作戦

講師：みんなの劇場・おかやま
こま、けん玉、お手玉、フラフープなどを使って、まずはレトロ遊びに挑戦。見たことはあっても実際に自分の手でやってみると、意外と難しかったり意外にできたり。大人ができるには限らず、誰もがやってみて感触をつかみ、いつの間にか夢中になっていました。楽しい笑い声も聞こえていました。

② 廃材を使って遊ぼう!

講師：子ども劇場西多摩コミュニティアート事業部/あそぶあーとでこちゃん、さとみん
当日スタッフはできないけれど、大博覧会を応援したい!という仲間たちから集まった多種多様な素材。この宝物の中からお気に入りを選んで私の友だち、私の帽子を創りました。瞳は輝き、心は躍ります。世界に一人だけの友だちと一つだけの帽子がたくさんできました。大人も一緒にワクワクしながら制作。ちょっぴり自慢の友だちや帽子ができました。あそびのひろばのスタッフは、鑑賞会「レオの小さなトランク」に触発されて、やってみました!!



⑦⑨⑩⑪ プレーパーク/4階大劇場ホワイエ

ビー玉転がし、大型ボードゲーム、折り紙、カプラ、牛乳パックカー工作...やってみようことに挑戦!会場のエリアいっぱい遊びが広がり、子どもたちのおしゃべりや笑っている声など、楽しい空気がいっぱいでした。大人が楽しんでいる姿もたくさんありました。年齢や性別などに関係なく、のんびり過ごしてもよし、はしゃいでてもよし、いろいろに過ごせる「ひろば」となりました。

③ 劇場の怪人になるう

講師：ありがとうファーム/アイデア実験室ハラボ してもいい、みずきち、カナビ、ピッピー、なっつ、ちくちく
短冊の形に切った画用紙を使って、「折る・丸める・くっつける」だけで、劇場の怪人ができる。折り方、丸め方、くっつけ方は自由自在。思わぬ変化も生まれきて、あらあら不思議!創造力×変化=怪人ヘッド。子どもたちの「～したい!」があふれていました。

⑤ ゲリラパフォーマンス

パフォーマー：みんなの劇場・おかやま、倉敷市立短期大学子ども劇場、どっこいはなまる、チョウタランタン、赤鼻まーちゃん
人形劇、腹話術、リトミック、バルーンアートなど学生や子育て中のママ、大人がパフォーマンスで登場。2階共有スペースがあったという間に楽しい場になりました。

④ みんなのディスコ

参加団体：Circle☆Circus 妹尾美穂(びあんぼ)、森本智美、ちあんぼ、鈴木優徳、ドラム：石原浩治、鍵盤ハーモニカアンサンブル ソラノオトOKYAMA、和太鼓：石原茂、花びらオブジェ：久保美沙登(就実短期大学生活実践学科准教授)
舞台上にはジャンベやマラカスなど30種類以上のいろんな国の打楽器が輪になって置いてあり、好きな打楽器を思いのままに叩いたり振ったりして音を出しました。
見上げると天井にはアパレル企業で廃棄となる生地が花びらオブジェとして吊るされています。和太鼓が舞台の真ん中に来ると檣(やぐら)のように見え、その周りで輪になって打楽器を打ち鳴らしながら歩き、「ぼっけ～の。ぼっけ～の。岡山ぼっけ～の」と歌い、踊りだした光景はみんなの心が一つになるお祭りそのものでした。岡山出身の妹尾美穂さん率いる Circle☆Circus を中心に年齢や国籍、障害の有無など問わぬ 160 人もの予想を超える人たちで、みんなのディスコとなり、笑顔と楽しい時間が共有できました。



⑨ 「こんなにも真剣になるんだ」とお母さんもビックリ

② ならす・つくる・おどる～やってみよう! ガムラン楽器と仮面～

